

平成 19 年度第 1 回評価委員会 主な意見とその対応

委員意見	法人の回答・今後の方針
財務諸表及び利益（損失）処理関係	
<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産（施設・設備等）の整備、更新の計画的な対応へのチェックはどのようにされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人移行時に施設等のチェックを行い、計画的に整備すべきものについては予算を確保することとしている。突発的な事態に対して、自律的な対応ができるよう利益処分については、目的積立金として処理させていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・食等における県立大学の特性、大学としてのポジションを確立するためには、先行投資等の必要性があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学としてのビジョンを持ちながら、対応していく必要があると考えている。
業務実績評価関係	
<ul style="list-style-type: none"> ・H18年度計画収支予算では、減価償却費及び資産見返物品受贈額戻入における実績に差異が生じているが、H19年度計画収支予算の修正の必要性はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度年度計画における収支計画については、修正を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力と学生が進むべき方向に必要な部分については、色分をしたほうが良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力が重要であることも十分に考えて、20年度からのカリキュラム改正に臨んでいる。学生が進むべき方向に必要な部分については、キャリアデザイン教育の中で、今年度からポートフォリオというファイルを学生に持たせ、4年間経った時にこういうことをやってきたんだということが具体的に見える形式をとっている。このファイルの整理を通して学生自身が自分の進むべき方向をまとめていくことができると考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・男子学生に元気がない。どう目的意識を持たせていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男子学生の問題は全国的な傾向でもあるが、ゼミ、フィールドワーク、サークル等で十分注意しながら活性化に取り組んでいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・学部再編の方向性について、現時点での考えが何かあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では考えてはいない。社会のニーズにどう対応していくかが非常に大きな問題であり、本学で出来るものと社会のニーズとを踏まえながら、まず大学院の強化、学科の教育内容の明確化等、改良を重ねていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・現時点での教員個人評価の検討の内容はどんなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検評価、他者評価、等格者評価の3つが大学の中に常に内在しているという仕組みができると、いい教員が残っていくと考えている。この中でも自己点検・評価が最も大事であり、この1年間は自己点検評価のためのシステム作りを行い、教員が日常的に自分の業績を入力できるシステムを整備している。
<ul style="list-style-type: none"> ・教員個人評価の人事処遇、給与等への反映の検討の内容はどんなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、賞与の部分で、全員一律にいく部分と、成績の良かった方に成績の悪かった方の分を持って行くというような動かし方ができるような仕組みが考案できないかと思う。